

持続性、長期持続性心房細動に対する CFAEs への追加焼灼が心房細動無再発率に寄与するかの検討

1. 研究の対象

2017 年 1 月から 2018 年 8 月にかけて持続性心房細動、長期持続性心房細動に対し肺静脈隔離術 (PVI) を行った方。

2. 研究目的・方法

当院では現在、持続性、長期持続性心房細動患者さんに対して肺静脈隔離術 (PVI) に加え、後壁隔離術 (BOX 隔離) が標準治療となっていますが、2018 年 2 月から 8 月に治療受けた方は、心房細動中の高頻度興奮部位 (CFAEs) への追加焼灼も実施していました。今回、追加焼灼が心房細動の再発抑制に寄与するかを検討します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

上記期間中にカテーテルアブレーションを実施した患者様のデータ (年齢、性別、心房細動再発の有無、アブレーションの内容が記載されたエクセルデータ)

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

済生会熊本病院 循環器内科 根岸耕大

住所 熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号

電話番号 096-351-8000

研究責任者：上記

以上